

## Tiit Ojasoo ティート・オヤソー

1977年生。演出家、映画監督、シアター NO99芸術監督。エストニア音楽・演劇アカデミーで演出を学び2000年に卒業。エストニアの最も著名な舞台演出家の一人として広く認知されている。大半はセンベルと共にオリジナル作品を創作するが、シェイクスピア、トム・ストッパード、エドワード・オールビー、コルテスやジャリなどの作品にも取り組んでいる。センベルとの最近の作品では、ソログープ、ブルガーコフやドストエフスキーの小説の舞台化も試みている。



## Ene-Liis Semper エネリース・センベル

1969年生。演出家、ドラマトウルク、映像作家、インスタレーション作家、シアター NO99芸術監督。1995年エストニア芸術アカデミー卒業後、現代演劇、オペラ界で幅広く活動。舞台芸術分野のみならず、ビデオやインスタレーションの芸術家として、ヴェネツィア・ビエンナーレ、ヨーロッパ現代美術ビエンナーレ (Manifesta) など数多くの芸術祭等で国際的に高く評価されている。作品は、重いテーマとアイロニーの二重性が知的に計算されたバランスで表現されている。彼女の学際的な数々の経験は、シアター NO99をはじめとする演劇活動の基盤となってきた。



## Theatre No99 シアター NO99 (2005~2019) 公式サイト<https://no99.ee/>

2005年2月に開場した、シリーズでの芸術作品制作を理念とした国営レパートリーシアター。エストニアのタリン中心部に大小二つのホールを有し、様々な芸術領域を融合したコンセプチュアルな作品を発表してきた。2019年1月に閉鎖されるまで14年間、毎シーズン複数の新作が発表された。形に残らないという演劇の性質への抵抗として、すべての作品に99から0まで番号を振る考えから、作品名にNO (number)が入っている。レパートリーの中には三島由紀夫や黒澤映画「七人の侍」から翻案された作品もある。アヴィニオン国際演劇祭、ウィーン芸術週間、オランダ・フェスティバル等、ヨーロッパの主要なフェスティバルに参加、高く評価された。2015年「NO 75 統一エストニア」でプラハ・カドレニアルのグランプリ・ゴールデントリガ受賞、2017年にはヨーロッパの演劇賞であるNew Theatrical Realities (新たな演劇的現実) を授与される。



### ●パネリスト / 佐々波 雅子

舞台美術家。日本舞台美術家協会 (東日本支部長、国際交流委員会委員長)。OISTAT日本センター理事。



### 【レクチャー】

**1日目** 10月28日(木) 18:30~22:00 (休憩あり)

シアター NO99 設立当時のエストニアおよびヨーロッパ演劇事情。目標と方法論。

**2日目** 10月29日(金) 18:30~22:00 (休憩あり)

NO99の政治的プロジェクト『統一エストニア』とは。

**3日目** 10月30日(土) 18:30~22:00 (休憩あり)

物語からではなくテーマ(主題)に基づく作品の作り方。NO99の稽古(リハーサルメソッド)・最終目的としての artistic images - 芸術的表象。

※3日間とも、必要に応じてシアター NO99 によるパフォーマンスのビデオ紹介があります。

【募集人数】50名程度

【講師言語】エストニア語 日本語通訳あり

【参加費】1,500円(通し券) ※協会会員無料

### 【お申し込み・問い合わせ】

チケットシステム [Peatix] から  
お申し込みください。

<https://jdaiad-estonia2021.peatix.com/>



上記のシステムが利用できない方は、件名「エストニア特集2021」を記載。本文に、①お名前(氏名・ふりがな) ②連絡先(電話番号、メールアドレス)を明記の上、メールにてご応募ください。のちほど詳細をご連絡いたします。

✉ [jda.iad.infol@gmail.com](mailto:jda.iad.infol@gmail.com)

☎ 080-3124-7210 (担当: 柏木)

チケットシステム [Peatix] ではレクチャー各回の直前まで  
(メールでのお申込みは、10月22日まで)

## 国際演劇交流セミナーとは？

1990年代より、近隣の韓国、中国の演劇人との交流、さらには東アジアの国々と、演劇交流をかさねてきました。1999年からは文化庁による本格助成のもと、「国際演劇交流セミナー」を通年で開催するようになり、世界各国の演劇人を講師として、ワークショップ、レクチャー、シンポジウム、リーディング等を連続的に開催しています。これまでに、アジア、ヨーロッパ各国より多くの演劇人を招聘してきました。今後も「世界の演劇人との交流」、ひいては「国際的視野を持つ日本の演出家、および劇作家、俳優の育成」を目的に、様々なセミナーを実施いたします。

### 2021年度セミナー

- 1 韓国特集 11月  
ソ・ジヘ / オ・セヒョク
- 2 香港特集 12月  
アンドリュウ・チャン